

所沢駅および駅周辺の開発基本構想を策定

「所沢スタイル」をコンセプトに、地域および沿線のシンボルを目指します。

西武鉄道（本社：埼玉県所沢市、社長：後藤高志）では、所沢駅（所沢市くすのき台1-14-5）の建て替えおよび駅周辺の社有地の一体開発を検討してまいりましたが、このほどその基本構想がまとまりました。

当社では、「でかける人を、ほほえむ人へ。」という新生・西武グループのスローガンを実現すべく、沿線価値の向上ならびに将来にわたる事業の持続的成長を目指した沿線開発に取り組んでおります。

所沢エリアについては、西武沿線の価値向上を図る上で特に重要なエリアと位置づけされており、本プロジェクトは当社の今後の成長戦略上きわめて重要な事業のひとつと考えております。池袋線と新宿線が交差する当社線の要の駅であり、一日約21万人（乗り換え客含む）のお客さまが利用される「所沢駅」の魅力を高めることにより沿線のシンボルを確立し、沿線のイメージアップならびに活性化を図り、「選ばれる沿線」となることを目指してまいります。なお、本基本構想の策定にあたっては、所沢市の中心市街地活性化のための方策を取り込み、市の街づくり計画に十分配慮することを心がけております。

今後は、本基本構想をベースに所沢市と鋭意協議を進めた上で具体的な事業計画を策定し、駅部分については2010年度、商業施設部分については2011年度の開業を目指します。

開発基本構想の概要は別紙のとおりです。

《所沢駅および駅周辺開発基本構想の概要》

1. 全体コンセプト

住み、遊ぶ、学ぶ、働く、健康的で多彩な生活が営まれるバランスのとれた生活地＝「所沢スタイル」を基本コンセプトとして、所沢と西武の新しい顔としての駅を中心に、多様多彩な文化の交流拠点としての商業施設および住民と街に開かれた文化交流のスペースを提案します。

2. 駅部分の開発アウトライン

コンセプト

所沢のシンボルとなるデザインにより、安全・安心で誰もが使いやすい駅を実現するとともに、街の東西の一体感を高め、街づくりの基点となる駅を目指します。

計画概要

現在の西口改札付近と駅東側を直線で結ぶ広い「中央自由通路」を新設し、同通路の北側に新たに改札口および各ホームへアクセスする広大なコンコースを設けます。また同通路の南側に「駅上（I+U）広場」を新設します。

特徴

- ・ ホームの中央部上空に橋上駅舎を新設し、完全バリアフリー化を実現
- ・ 各ホームに移動するすべての動線上にエレベーター・エスカレーターを設置
- ・ 日本の航空発祥の地にちなみ、翼をイメージした大屋根で駅舎を覆うことで広い空間を確保し、視認性と周辺施設との一体感を向上
- ・ 街の交流の場として集える「駅上（I+U）広場」の新設
- ・ 乗り換えの不便さを楽しみに変える、多彩な駅ナカ店舗

3. 商業施設部分の開発アウトライン

コンセプト

「所沢スタイル」をコンセプトに、“生活エンジョイ型”の生き生きとして豊かで活動的な営みとシーンを創り出すことを目指し、地域の皆さまのニーズに合った多彩な店舗・施設を用意します。

計画概要

駅に隣接する社有地（計 約 20,000㎡）を活用して駅と一体的に商業施設を新設し、駅東西の回遊性を高めることで地域の一体化を図ります。

特徴

《東口（A敷地・B敷地）》

- ・ 東口側に不足していた「日常を楽しむ場」としての商業集積
- ・ 高感度なファッションと生活デザインを提案
- ・ 刺激・感動・趣味嗜好を謳歌するエンターテインメント・コンプレックス
- ・ 知的、健康、美的ニーズに応えるカルチャー関連業態のコンプレックス
- ・ 多様な食文化を開放的で活気あふれる環境で楽しむ食ゾーン
- ・ 屋上庭園の設置による環境への配慮

《西口（西友跡・横路地）》

- ・ プロペ通り周辺の文化力を高める各種施設
- ・ プロペ通り周辺へと面的に拡がる中枢の形成
- ・ 西友横の人通りの少ないエリアの活性化

以 上

